

名称	日本語名称	機能
EGF	上皮細胞増殖因子	細胞の成長と増殖の調節。
PDGF	血小板由来成長因子	血管形成、傷口の回復、傷跡、瘢痕の改善。
FGF	線維芽細胞成長因子	ヒト繊維芽細胞、グリア細胞血管内皮細胞など、肌組織を増殖。
TGF-β	トランスフォーミング成長因子-β	マクロファージ、脳細胞、ケラチノサイトで産生され、上皮の発生に関係する。
TGF-α	トランスフォーミング成長因子-α	骨芽細胞の増殖およびコラーゲンのような間葉細胞の合成・増殖を促進し、上皮細胞の増殖や破骨細胞に対しては抑制的に作用する。
NGF	神経細胞増殖因子	知覚・交感神経などの神経細胞を増殖。
Epo	エリスロポエチン	各種グロースファクターをサポートし、組成を強める。
IGF- I	インシュリン様成長因子- I	軟骨細胞、平滑筋細胞を増殖。
IGF- II	インシュリン様成長因子- II	
IL-1-α	インターロイキン-1-α	マクロファージによって分泌され急性期反応を誘導。
IL-1-β	インターロイキン-1-β	
IL-2	インターロイキン-2	T細胞によって分泌されT細胞の増殖と分化を促進。
IL-3	インターロイキン-3	T細胞によって分泌され骨髄幹細胞を刺激。
IL-4	インターロイキン-4	B細胞の増殖とT細胞および肥満細胞の分化に関与する。アレルギー反応で重要。
IL-5	インターロイキン-5	B細胞を刺激してIgAを産生させ、また好酸球を刺激する。
IL-6	インターロイキン-6	マクロファージを刺激して急性反応を誘導する。
IL-7	インターロイキン-7	B細胞、T細胞、NK細胞の生存、分化、ホメオスタシスに関与する。
IL-8	インターロイキン-8	好中球の走化性を誘導する。
IL-9	インターロイキン-9	肥満細胞を刺激する。
IL-10	インターロイキン-10	Th1サイトカイン産生を阻害する。
IL-11	インターロイキン-11	急性期タンパク質を産生させる。
IL-12	インターロイキン-12	NK細胞を刺激し、Th1細胞を誘導する。
IL-13	インターロイキン-13	B細胞の増殖と分化を刺激し、Th1細胞を阻害し、マクロファージの炎症性サイトカイン産生を促進する。
INF-α	インターフェロン-α	細胞のウイルス抵抗性を上昇、NK細胞の攻撃から保護、NK細胞を活性化させてウイルス感染細胞を除去。
INF-β	インターフェロン-β	
INF-γ	インターフェロン-γ	
TNF-α	腫瘍壊死因子-α	活性化されたマクロファージによって産生される他、単球、T細胞やNK細胞、平滑筋細胞、脂肪細胞も産生源となる。
TNF-β	腫瘍壊死因子-β	
GM-CSF	コロニー刺激因子	血管生成細胞の増殖と分裂の促進、単核細胞と大食細胞機能の改善、白血球機能の改善。
M-CSFs	コロニー刺激因子	脳脊髄液。ブレン（脳）に対して働きかけると言われている。
TGF Beta-1	トランスフォーミング成長因子-β-1	コラーゲンの生成、グルコサミンogリカンの生成、フィブロネクチン繊維性糖たんぱく質の増大、細胞間質分解の抑制、走化性の促進。
TGF Beta-2	トランスフォーミング成長因子-β-2	
TGF Beta-3	トランスフォーミング成長因子-β-3	